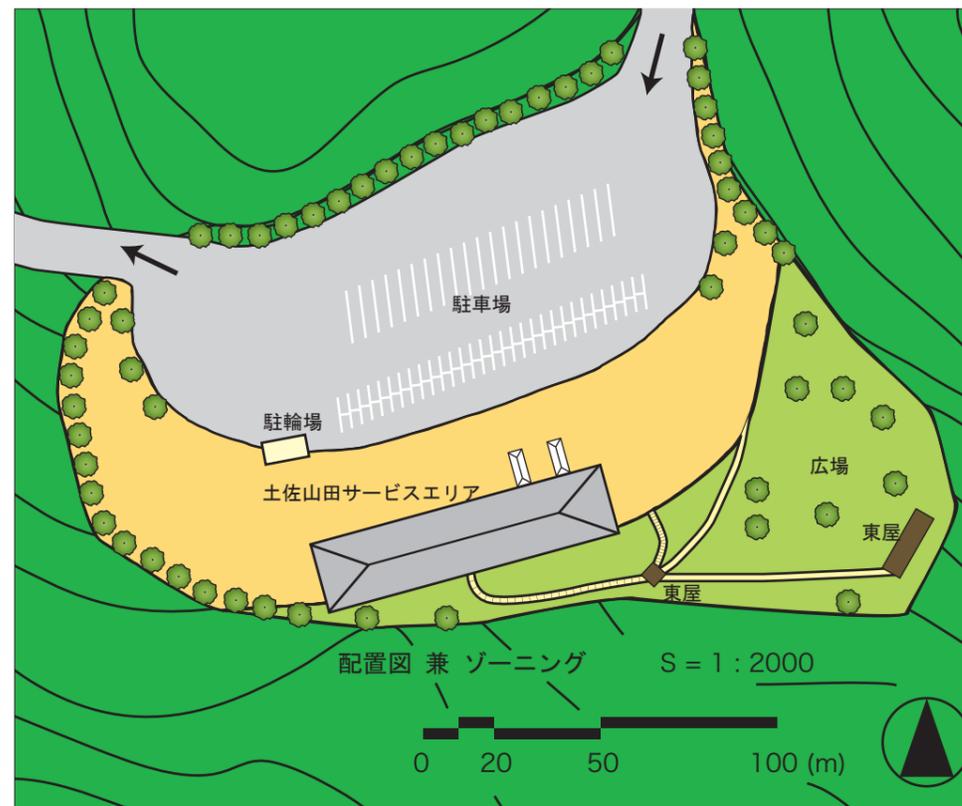


土佐山田サービスエリアのデザイン

高知工科大学 工学部
社会システム工学科
1100395 古林大介

コンセプト
『太平洋を眺める高知の玄関口』
キーワード
・太平洋
・休息
・眺める



目的

本卒業設計では、高知自動車道で新たなサービスエリアの提案を行う。高知県は南国で太平洋に面した県というイメージを持つが、現実には高知県に入ると「太平洋」というイメージは遠く感じる。高知県の玄関口である高知自動車道で太平洋を眺めることのできるサービスエリアを設置することにより、南国高知に来たという印象を与える。



南国サービスエリア

背景

高知県は、太平洋に面した温暖な気候を持つ地域である。太平洋に面した地形を利用した観光資源もいくつかあり、室戸岬や桂浜、足摺岬などが有名である。最近では坂本竜馬の人気などで観光客の増加が期待されているため、高知県は様々な活動をしている。

高知県の玄関口とも言える高知自動車道は他県から高知県に入る前に、「太平洋まで50km」という看板が掲げられており、太平洋に近づいていることを感じさせる。しかし、太平洋を眺めることが出来るのは大豊ICと南国IC間の短い区間だけであり、あとは高知自動車道を降りて海まで走らなければ見る事ができない。そのため、南国高知のイメージを持ってない。

現況の問題点

高知自動車道を利用し高知県に入った場合、山すそを通りトンネルが連続するので太平洋の存在を感じることが出来ない。南国サービスエリアは、周囲を山に囲まれた場所に立地しているため、ここでも太平洋の存在を感じることは出来ない。

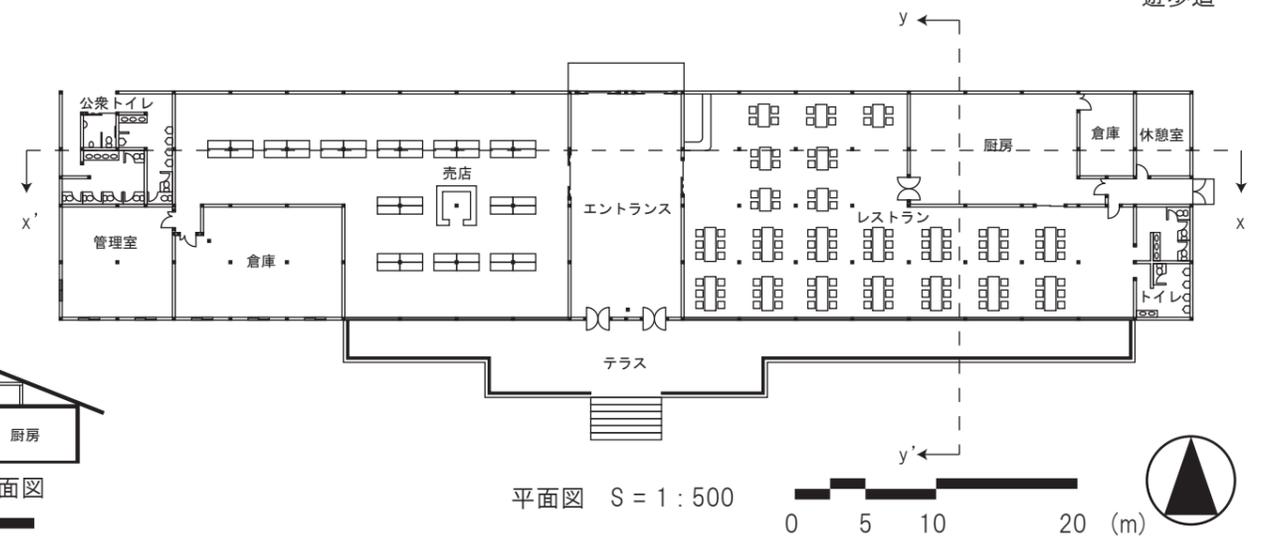
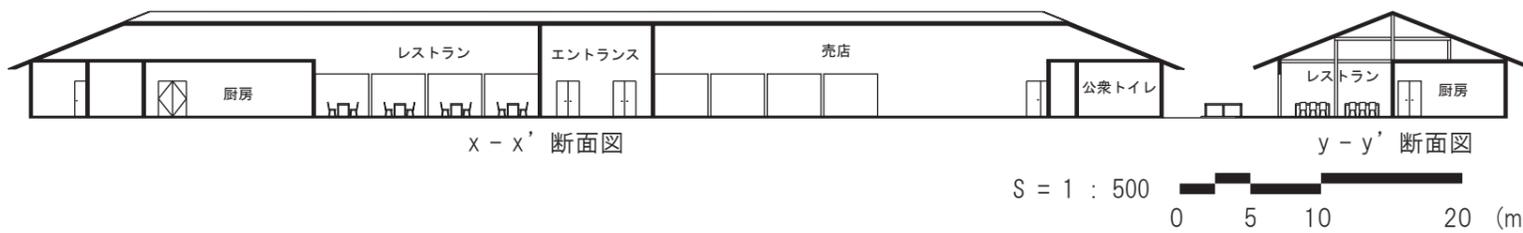
土佐山田サービスエリアのデザイン



レストラン



遊歩道



サービスエリア 1km 手前 ~ サービスエリア駐車場までのシーケンス

設計趣旨

道路に隣接した山の斜面にサービスエリアを設ける。サービスエリア内にはレストラン、売店、観光案内所、トイレなどを設置した。レストランからは太平洋の絶景を眺めながら高知の海の幸、山の幸を味わえる。屋外には遊歩道と、山の傾斜を利用した斜面広場、展望台も兼ねた東屋を設けた。運転で疲れた体のリフレッシュや、車の中で退屈していた子供たちが体を動かす場として利用出来る。